

株式会社INPEX（証券コード：1605）

2025年6月4日（水）

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future



当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- ・ 為替レートの変動
- ・ 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

目 次

1. INPEXの概要
2. 日本最大規模のエネルギー開発企業
3. INPEXはこれから
どうやって成長するのか？
-INPEX Vision 2035-
4. 業績・株主還元・株主優待



1. INPEXの概要

社名：株式会社INPEX
上場市場(証券コード)：東証プライム市場(1605)

従業員数^{*1}：3,679人

大株主の状況^{*2}：
経済産業大臣 23.11%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)12.33%
日本カストディ銀行(信託口) 6.15%

株価^{*3}：1927円

石油・天然ガス開発
クリーンエネルギー

日本の年間
エネルギー消費量の

約**1割**

に相当する生産量

事業活動の

9割が海外

外国人従業員比率*

(2024年12月末時点)

42.7%

時価総額

(2025年5月21日時点)

約**2.3兆円**

総還元性向

(2024年12月期)

55%

探鉱前営業CF

(2024年12月期)

約**9千億円**

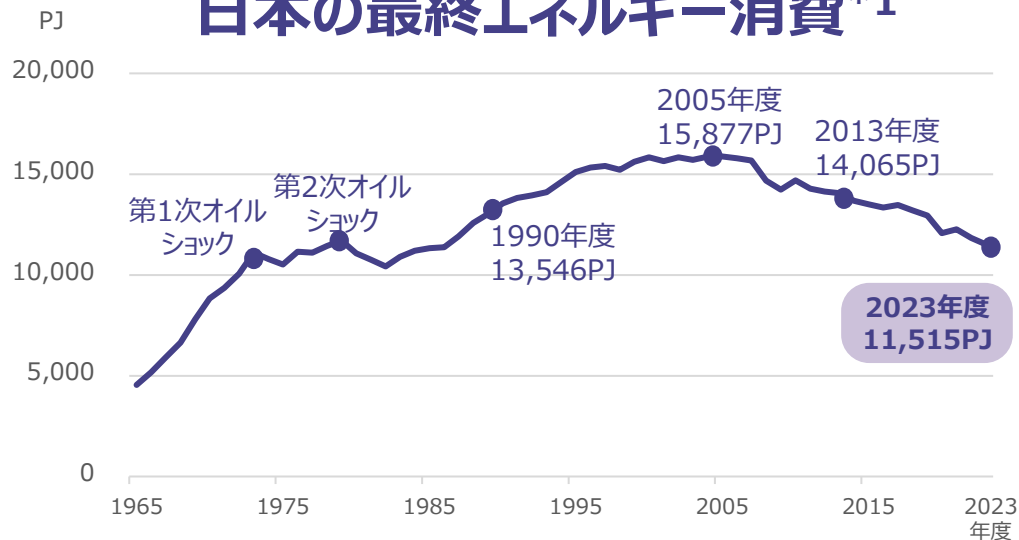
* 子会社を含むINPEXグループの従業員に占める外国籍の従業員の割合

日本のエネルギー供給に大きく貢献

当社のネット生産量は、

日本の年間エネルギー消費の**約1割**に相当

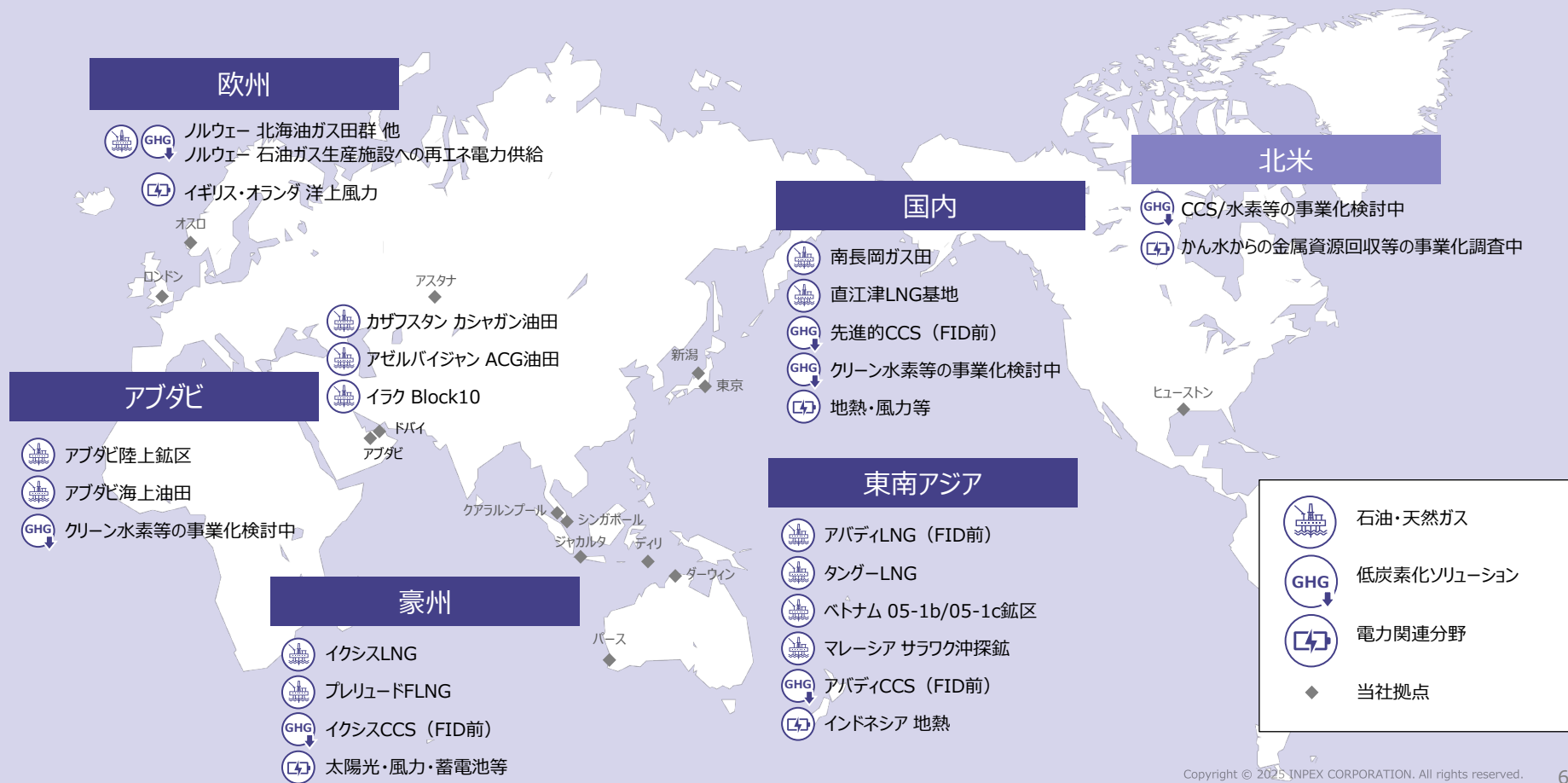
日本の最終エネルギー消費*1

当社のネット生産量
約230百万バレル*2日本の最終エネルギー消費
1,862百万バレル
(11,515PJ)日本の最終エネルギー消費に占める
当社のネット生産量は**約12%**

*1 経済産業省資源エネルギー庁, 2025年4月25日, 「令和5年度(2023年度)エネルギー需給実績」

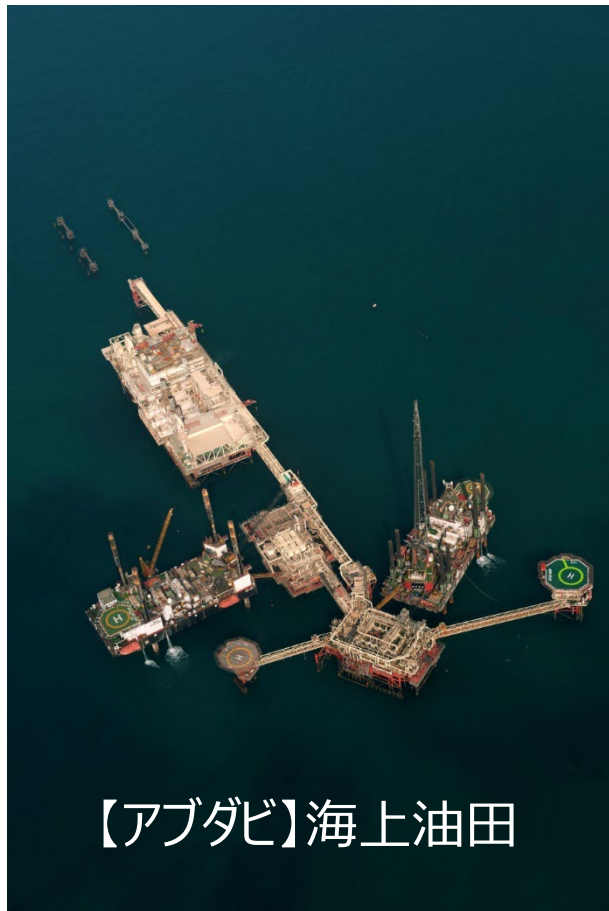
*2 2023年度

当社コアエリアと主要プロジェクト



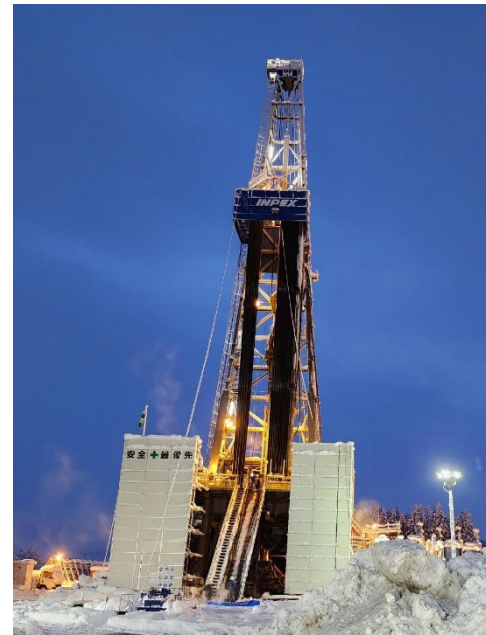
1. INPEXの概要

当社の主な石油・天然ガス分野のプロジェクト



日本最大のガス田である 南長岡ガス田を操業

掘削現場



2. 日本最大規模のエネルギー 開発企業

海外エネルギー開発企業

スーパーメジャー

Exxon Mobilエクソンモービル
(アメリカ)**Shell**シェル
(イギリス)**BP**ブリティッシュ・ペトロリアム
(イギリス)**Chevron**シェブロン
(アメリカ)**Total Energies**トタルエナジーズ
(フランス)米
国
系**Conoco Phillips****Occidental Petroleum**豪
州
系**Woodside Petroleum****Santos**欧
州
系**Equinor** (ノルウェー)**Eni** (イタリア)**Repsol** (スペイン)上
流中・下
流日
本**INPEX**

石油資源開発

ENEOS

出光興産

コスモ石油

商
社

三菱商事

三井物産

伊藤忠商事 等

国営石油会社

サウジアラムコ

(サウジアラビア)

ADNOC

(UAE)

中国石油集団

(中国)

ロスネフチ

(ロシア)

プルトミナ

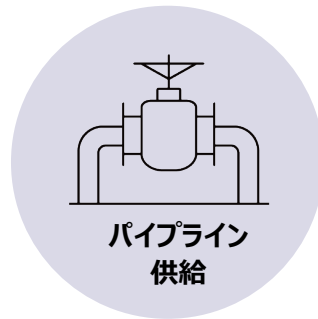
(インドネシア)

ペトロナス

(マレーシア)

天然ガス/LNG事業を上流から下流まで一気通貫で手掛ける

当社は、天然ガス/LNG事業を上流から下流まで
一気通貫で行っている**世界でも数少ない会社の一つ**



上流

中・下流

地下の探査を行う



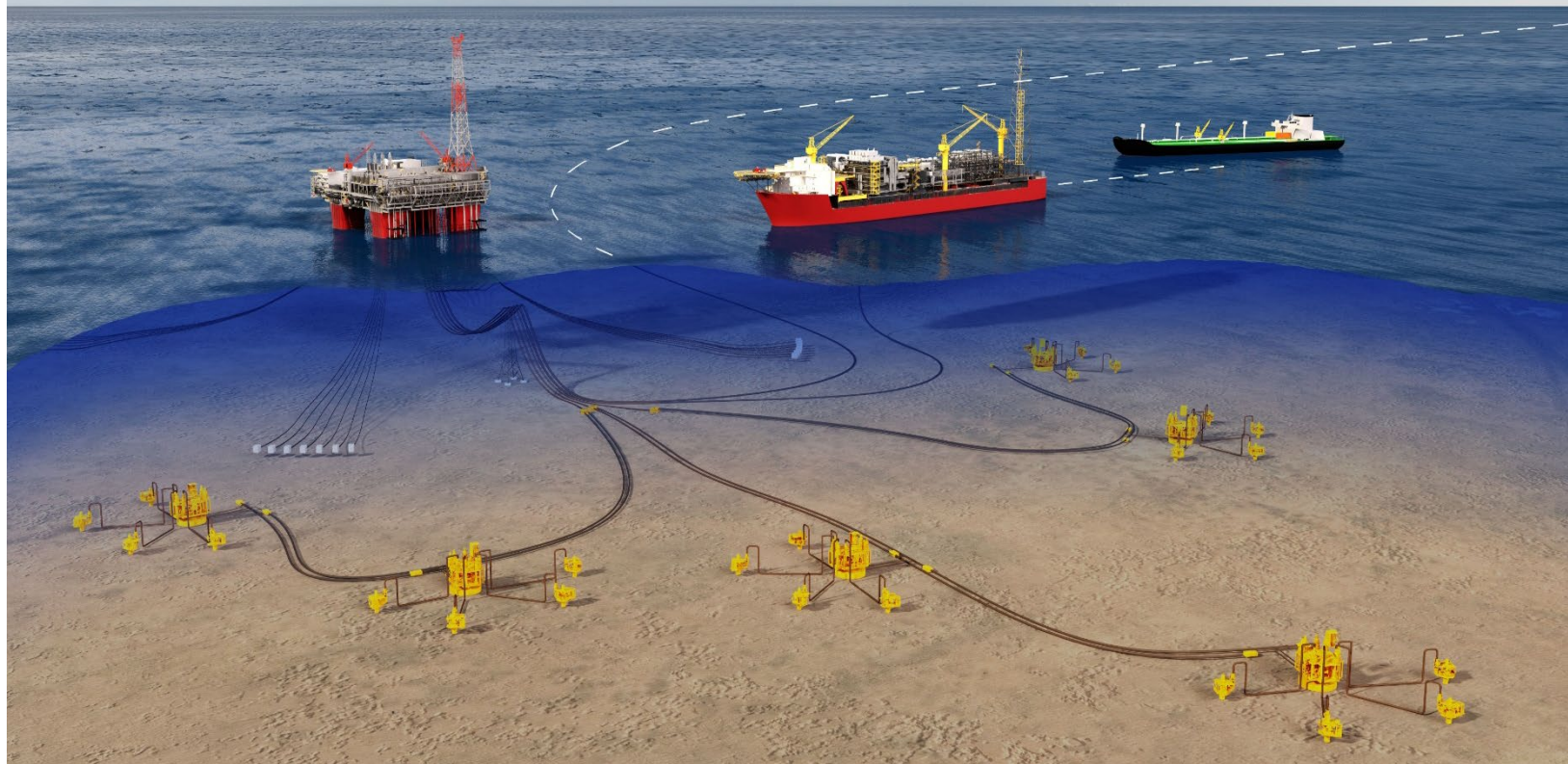
試しに掘る



発見後の調査分析



イクシスの海底生産システム (オーストラリア)



海底ガス輸送パイプライン

敷設作業の様子



ダーウィンLNG液化基地

(オーストラリア)



ダーウィン港を出発するLNG船 (オーストラリア)



当社のバリューチェーン



3. INPEXはこれから どうやって成長するのか？ -INPEX Vision 2035-

3. INPEXはこれからどうやって成長するのか？ -INPEX VISION2035- 2035年にありたい姿：60-60を目指して

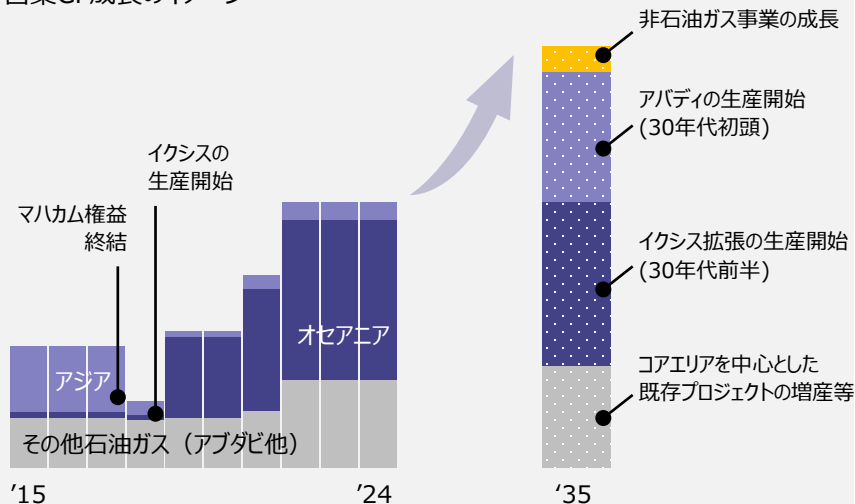
INPEX



IRグッドビジュアル賞受賞

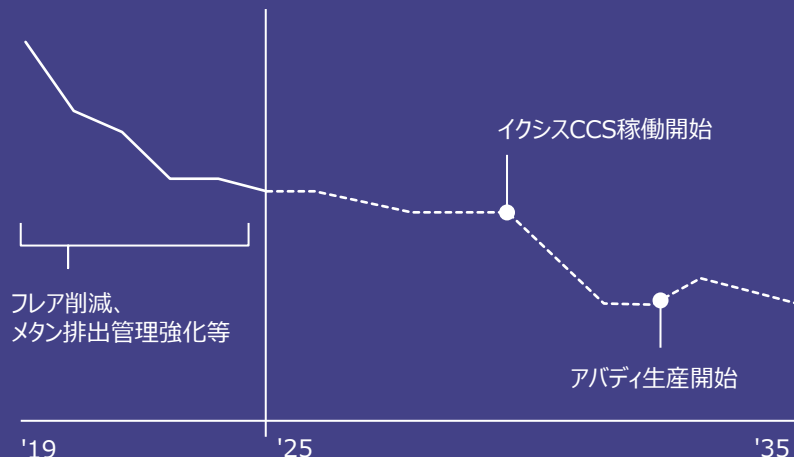
事業規模を**60%拡大**します

営業CF成長のイメージ



GHG排出原単位を**60%削減**します

GHG排出原単位の見通し



今後の成長のカギ INPEX Vision 2035 : 3つの成長軸

既存プロジェクトの**安全/安定操業を一層強化し、株主還元・成長投資の原資を確保**

成長軸 **1**

天然ガス/LNG事業の拡大

成長軸 **2**

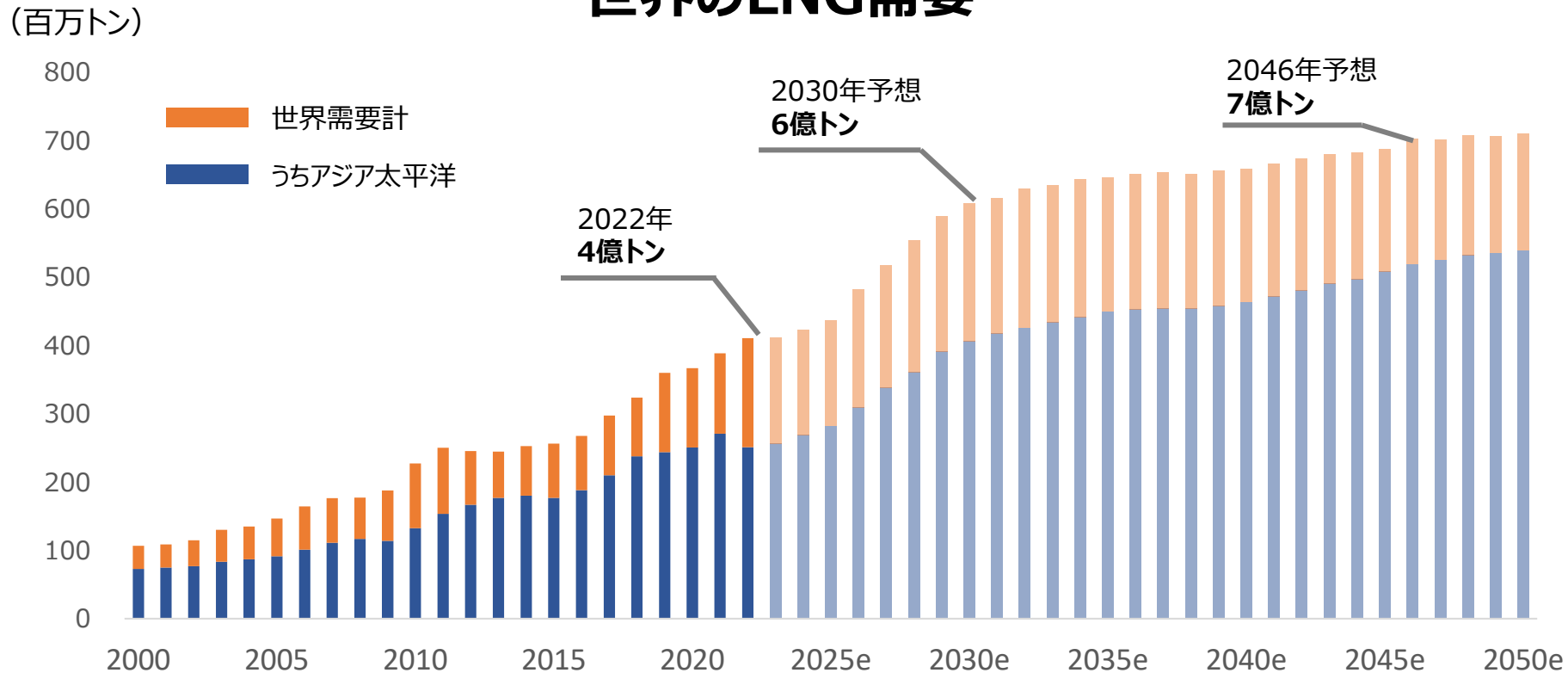
CCS* / 水素をコアとした低炭素化ソリューションの提供

成長軸 **3**

INPEX「ならでは」の強みを活かしたエネルギー・資源分野での新たな挑戦

グローバルでのLNG需要は今後アジアが中心となる

世界のLNG需要



3. INPEXはこれからどうやって成長するのか？ -INPEX VISION2035- イクシスLNGプロジェクト（オーストラリア）

INPEX



更なる低炭素化に向けたCCSの実装、LNG生産能力の拡大

イクシスのLNG生産の能力イメージ

第3トレイン 拡張

原料ガス
追加確保

第1/2トレイン
年産生産量930万トン

'2025

'2035



日本の年間LNG輸入量は
約6,500万トン*

イクシスの生産量は
日本のLNG輸入量の
約14%に相当



* JOGMEC, 2024年11月18日, 「日本企業のLNG取扱量に係る2024年度調査結果」(2023年度実績)

3. INPEXはこれからどうやって成長するのか？ -INPEX VISION2035- アバディLNGプロジェクト（インドネシア）

LNG生産量はイクシスと同程度の**年産950万トン**
2030年代初頭の生産開始を目指す



FPSO

ガスとコンデンセートの分離

陸上LNGプラント(OLNG)

年産950万トン

海底パイプライン(GEP)

距離：180km

海底生産システム(SURF)

水深400～800m

CCS

CO₂を圧入

3. INPEXはこれからどうやって成長するのか？ -INPEX VISION2035- 首都圏CCS事業による貢献（千葉県）

国内で先進的CCS事業を推進

第三者へもGHG削減ソリューションを提供し、新たな収益源を目指す



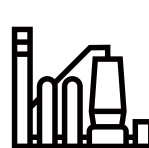
検討例：首都圏CCS（約140万トン/年）

分離
回収

製鉄所

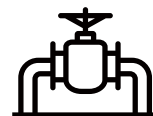
発電所等

CO₂分離回収設備



輸送

陸上パイプライン



貯留

昇圧設備



CO₂圧入井

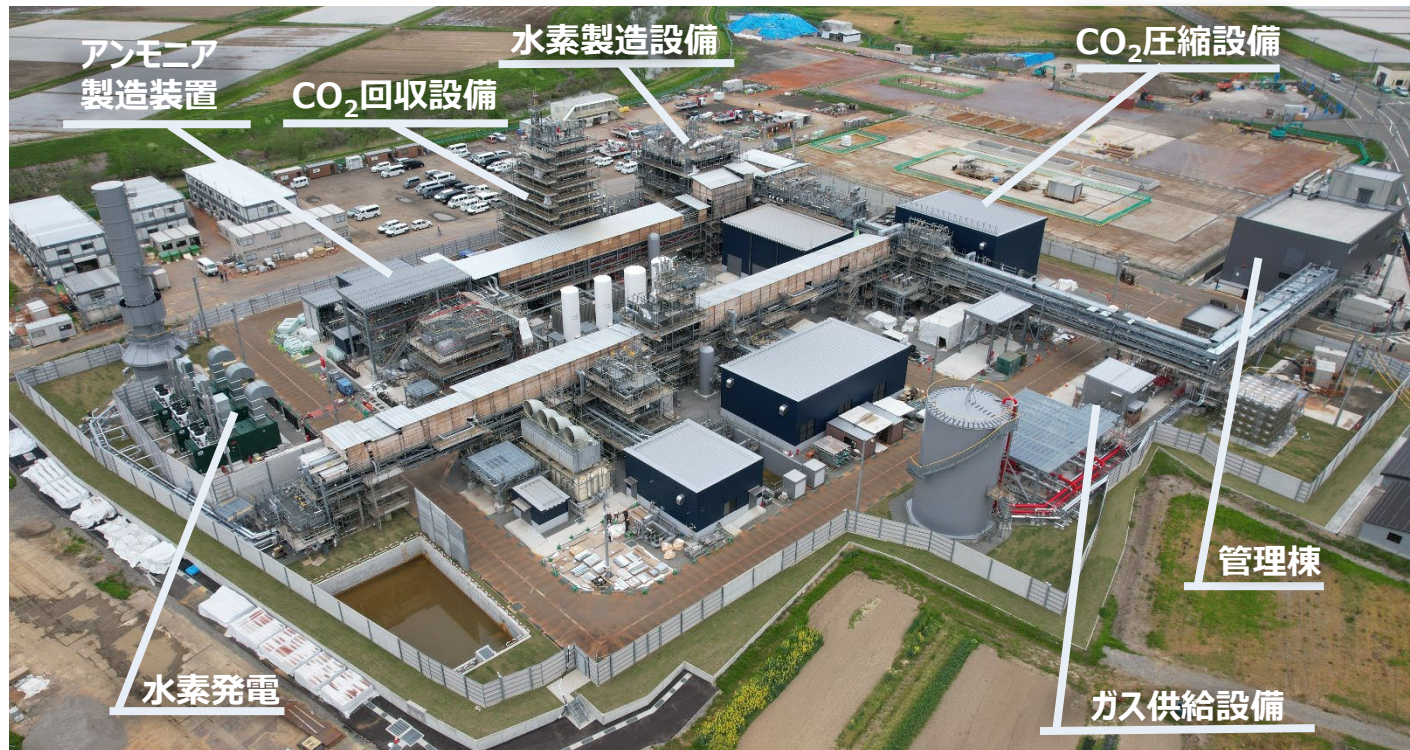


* パイプラインルートおよび貯留エリアは評価・選定中

3. INPEXはこれからどうやって成長するのか？ -INPEX VISION2035-

ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験（新潟県柏崎市）

日本初の国産天然ガスを用いたブルー水素・アンモニア製造CCUSの実施 発電等による利用までを一貫する実証試験



2025年4月末時点

天然ガス

液化

LNG

LNG受入

ガス火力

地熱

風力

太陽光

電力

データセンター等

需給調整

蓄電池

CO2回収

ガス田

CO2

CCS

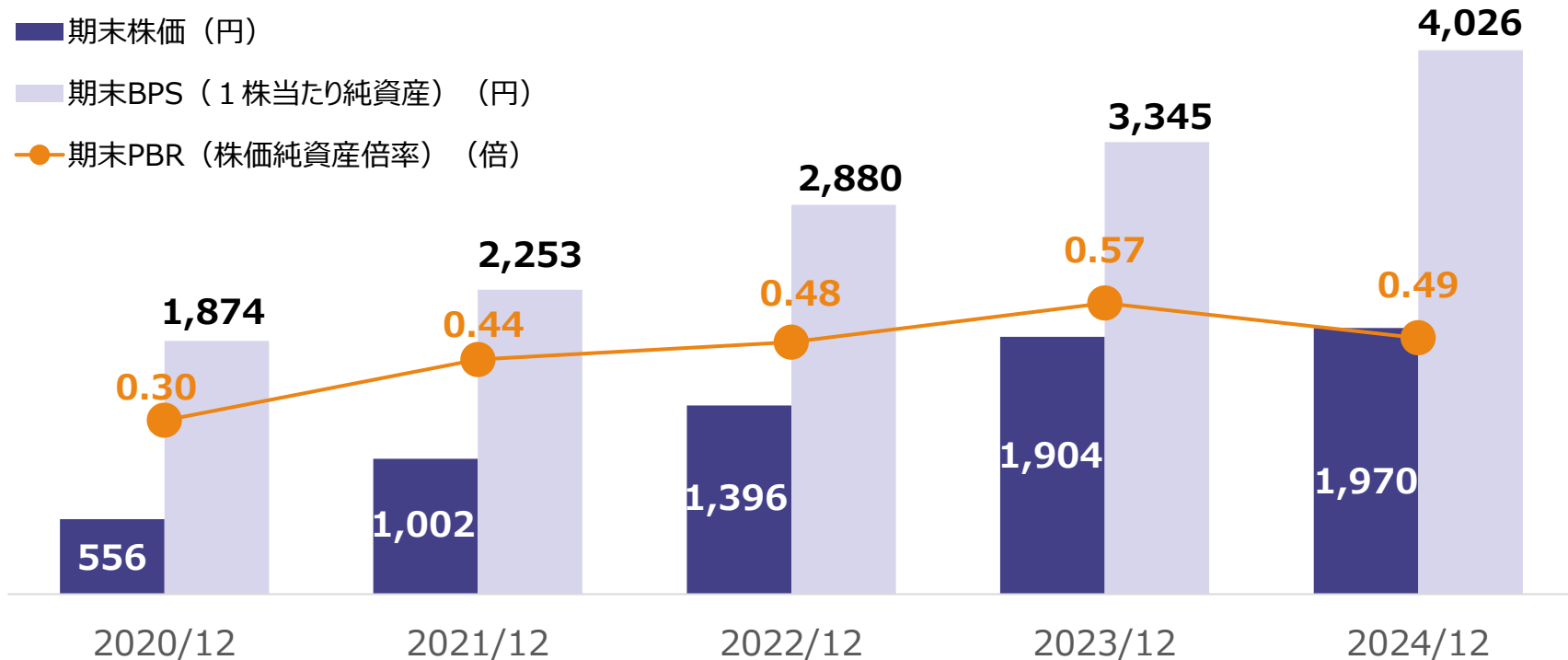
ヨウ素の供給

金属資源の供給等

電力多消費産業への貢献

4. 業績・株主還元・株主優待

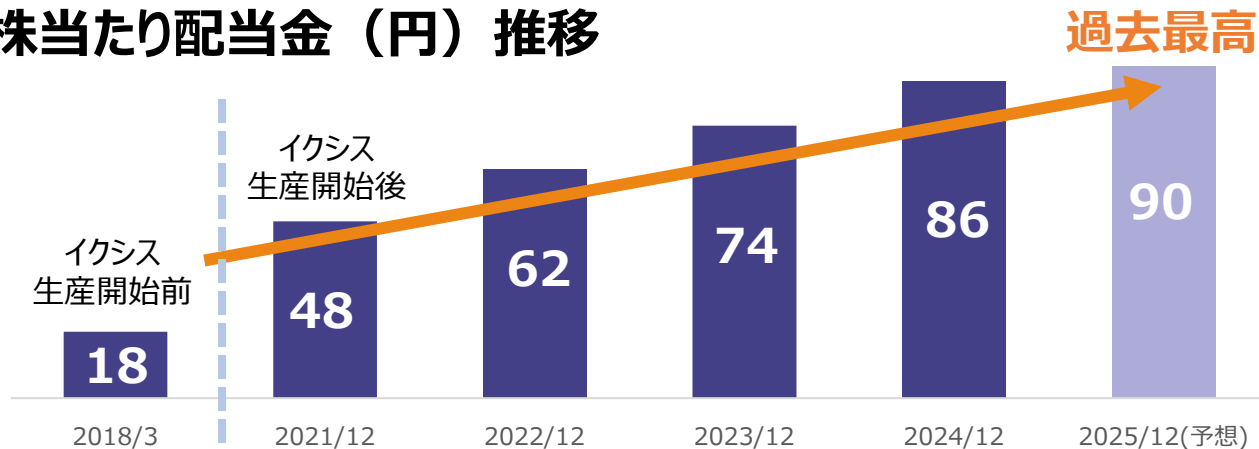
4. 業績・株主還元・株主優待 株価及びPBR推移



* 2020年～2022年：日本基準、2023年・2024年：IFRS

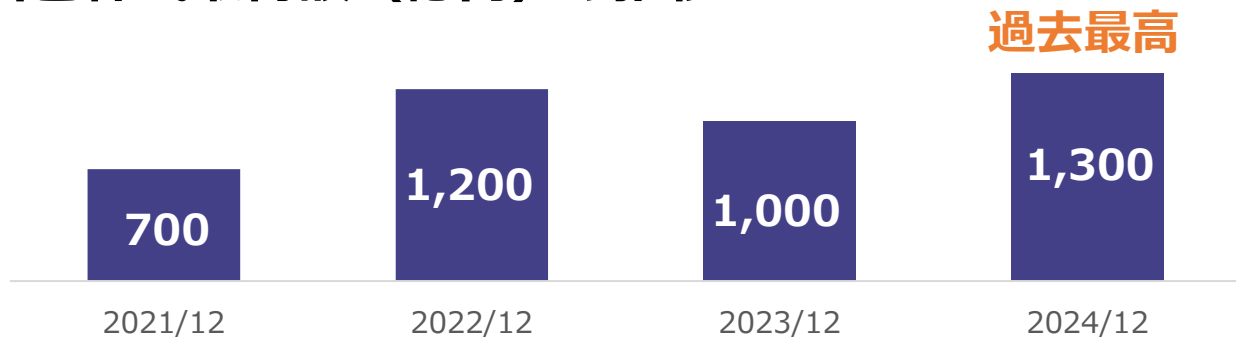
株主還元を大幅に拡充

1株当たり配当金（円）推移



1株当たり配当金は
2018年度比で
5倍まで増加

自己株式取得額（億円）の推移

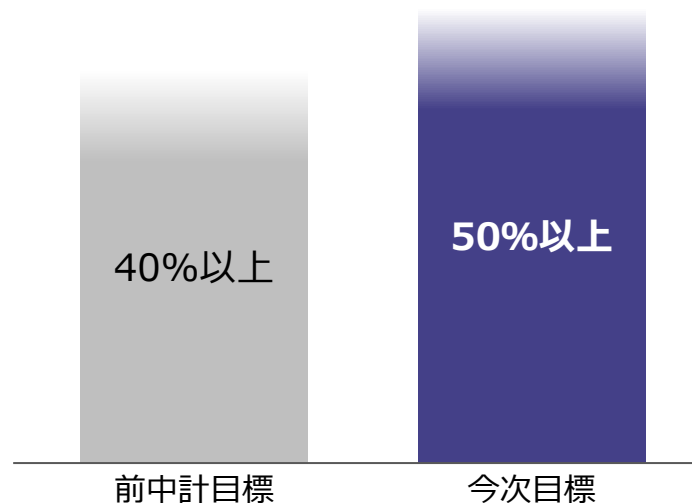
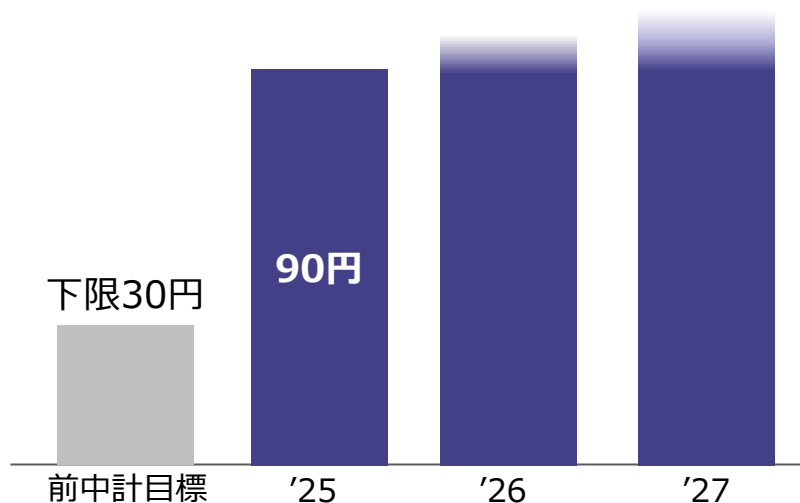


4期連続で
自己株式取得を実施

株主還元を強化していきます（2025-2027 中期経営計画より）

1株当たり年間90円を起点とする
累進配当^{*1}を実施

累進配当をベースに機動的に
自己株式を取得
総還元性向^{*2} 50%以上を目指す



*1 前期の1株当たり年間配当金に対して維持または増配

*2 配当支払額と自己株式取得予定額の合計金額÷当期利益

株主優待① オリジナルQUOカード

保有実績（400株以上を1年以上）に応じ**当社オリジナルQUOカード**を進呈しています
毎年絵柄が代わることも特徴です



株主優待② 施設現場見学会

12月末時点で100株以上保有の株主さまに対し
抽選で**施設現場見学会**を実施しています



LNGタンク



INPEX Museum

コーポレートブランディング - ブランドメッセージの策定 -

「ブランドメッセージ」には、「**地球の力**」を活かした事業をグローバルに展開し、**チャレンジ精神**をもって、**未来**に向かってエネルギーの課題を解決していく、**当社の決意や力強い意思**を表現しています。

地球の力で未来へ挑む

Energy for a brighter future

ブランドステートメント

ブランドステートメントには、**エネルギーの安定供給という「使命」**を掲げ、蓄積した経験と発想を集結して、「**世界規模の課題**」に挑戦していく当社の姿勢を示しています。

ステートメントデザインのテーマは「**Arrow（矢印）**」。

「Arrow」の角度は、INPEXのコーポレートロゴの角度と同じで地軸の傾きを表す上向き23度になっており、右に向いた「Arrow」はチーム全体で力を合わせて未来に向けて挑むイメージを表現しています。

ブランドメッセージの「挑む」の文字にもArrowのデザインを取り入れ、エネルギー、向上心、安全性をイメージするオレンジ色を採用しました。

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。

私たちは地球の力でエネルギーを創る、

チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。

絶対に使命を投げ出したりしない。

私たちはエネルギーを探し、届け続ける。

今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future



ご清聴ありがとうございました。



<https://www.inpex.com>

当社ウェブサイトには投資家様向けを含む様々な情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。

地球の力で未来へ挑む
INPEX

INPEXについて 事業案内 IR (投資家情報) サステナビリティ ニュース 採用情報 Q. 検索 JP EN お問い合わせ



INPEX TOPICS



目の前に立ちはだかる世界規模の課題。
私たちは地球の力でエネルギーを創る、
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。
絶対に使命を投げ出したりしない。
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future